別表第二号の二第４　航空局、無線標識局、無線航行陸上局、無線標定陸上局、無線標定移動局及び無線測位局の工事設計書の様式（第４条、第12条関係）

この様式に代わるものとして認めた場合は、それによることができる。

1枚目

工事設計書	
1　無線局の区別	
2　装置の区別	第　　装置　　装置名〔　　〕
3　通信方式コード	
4　有効通達距離等	
5　測定確度（%）	
6　最小測定距離	
7　送信機	
発射可能な電波の型式及び周波数の範囲	
定格出力（W）	
低下させる方法コード	
低下後の出力（W）	
変調方式コード	
パルス幅	
製造者名	
検定番号又は名称	
適合表示無線設備の番号	
製造番号	
8　受信機	
区別	□送信機と同じ
製造者名	
検定番号又は名称	
製造番号	
通過帯域幅	
9　予備電源	□有　□無
10　設置場所番号	

長辺　短辺　（日本工業規格A列4番）

別表第二号の二第４　航空局、無線標識局、無線航行陸上局、無線標定陸上局、無線標定移動局及び無線測位局の工事設計書の様式（第４条、第12条関係）

1　1枚目

工事設計書

1　無線局の区別	（　　局分）	※整理番号	

2　装置の区別	3　通信方式コード	5　測定確度（%）	7　送信機								9　予備電源
			発射可能な電波の型式及び周波数の範囲	定格出力（W）	低下させる方法コード	低下後の出力（W）	変調方式コード	製造者名	検定番号又は名称	技術基準適合証明番号	製造番号	
第　装置　装置名〔　〕	4　有効通達距離等	6　最小測定距離										□有　□無
												10　設置場所番号

8　受信機			
製造者名	検定番号又は名称	製造番号	通過帯域幅

11　空中線系番号	12　空中線											13　給電線等						14　発射する周波数等	15　受信する周波数
	空中線型式等				海抜高（m）	地上高（m）	利得（dBi）	指向方向（度）	水平面の主輻射の角度の幅（度）	空中線の位置		給電線損失		共用器損失		その他損失			
	送受の別コード	基本コード	付加コード	偏波面コード						経度	緯度	送信（dB）	受信（dB）	送信（dB）	受信（dB）	送信（dB）	受信（dB）		

16　空中線系に関するその他の事項

□　構成が複雑なため記載が困難であり、構成は添付図面のとおりである。

17　附属装置		20　備考
コード	記載部	
18　その他の工事設計	19　添付図面	
□　法第3章に規定する条件に合致する。	□　無線設備系統図 □　電源系統図　□　敷地平面図	

長辺　短辺　（日本工業規格A列4番）